

令和 7 年 8 月 16 日

東員町議会 予算決算常任委員会 委員長 大谷 勝治 様

東員町議会議長 南部 豊

研 修 報 告 書

研修期間	令和 7 年 8 月 6 日（水）
研修（視察）先	いなべ市議会
目的（テーマ等）	1. 議会における施策評価・事務事業評価
参加議員名 （複数の場合）	予算決算常任委員会（14 名 議長を含む）
資料添付の有無	有 ・ ④無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

《研修概要、内容》

いなべ市議会 清水議長 衣笠副議長 伊藤議員 事務局員

いなべ市において、実施されている事務事業評価の取り組みについて研修を受けました。

清水議長及び予算決算常任委員長から、「議会における施策評価・検証評価として2017年4月より、議会基本条例を制定。

議会報告会、事業評価を開始しタブレット端末の導入等の取り組みや、議会検証評価。

2022年10月から2023年11月に成熟度評価モデルを利用したの議会活動の評価検証を行い、2024年からは、いなべ市議会行動計画に基づく議会活動をスタートさせた。

具体的には、議会モニター制度の開始、市民と議会との意見交換会など、議案に対する市民の意見の声として、取り組んでいる。

所感

いなべ市議会では、事務事業評価を進めるにあたり、各会派から行政施策に対する問題点や課題を、各会派ごとに持ち寄り、議員間討議などで議論を深め、重点的事業として、2～3に絞り込む。各会派の考え方として議会全体の意見としてまとめる。

東員町議会としては、今年度さらに勉強会や研修を重ねることによる、成熟期間としての位置付けとして、取り組むこととしている。

いなべ市議会が実施している、議会検証評価特別委員会の設置や、活動サイクルとして定着させている点は、評価できると思いました。

東員町議会としても、行政に向けた事務事業評価をいかに、改善させた町民の皆様にとってより良き施策として新年度予算に反映させるのが課題となる。

「住民、行政議会が何が重要で、何が必要なのか」を学ぶ研修であったと思います。